

(様式1)

## 令和5年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立吾嬬立花中学校
校長名	佐藤 順一

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・1学年は、国語、数学、英語で、昨年度の目標であった全国平均値を超える結果だった。</li><li>・目標には達しなかったが、全学年で、数学は、全国平均±2%以内(1年+1% 2年-0.8% 3年-1.7%)、国語は±3%以内(1年+2% 2年-2.8% 3年-0.7%)という結果だった。</li><li>・1学年の国語、数学、理科、英語、3学年の国語は、昨年度目標だったDE層の合計40%以内を達成した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・1学年の社会、理科、2学年、3学年の全教科で、全国平均値を下回る結果だった。</li><li>・全学年で、理科(1年-0.6% 2年-7.6% 3年-7.7%)と社会(1年-4.1% 2年-6.1% 3年-3.3%)という結果となった。</li><li>・2学年も3学年も、昨年度と比較して、全国平均との差が大きく縮まった教科がなかった。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・「好きな教科や授業がありますか」との質問に肯定的な回答をした生徒が、1学年92.9% 2学年96.1% 3学年96.8%という結果になり、授業に対し、前向きな印象を持っている生徒が多くいることがわかる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・平日に家庭で学習しない生徒が、1学年9.6% 2学年12.6% 3学年3.3%(昨年より改善)、休日に家庭で学習しない生徒が、1学年23.1% 2学年28.3% 3学年8.7%という結果になり、低学年からの家庭学習習慣の定着が必要である。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度第1回英語検定の受検者が51名、漢字検定の受検者が61名、数学検定の受検者が9名と、授業以外の学習に取り組んでいる生徒が多くいる。</li><li>・英検の放課後補習教室に23名、社会の放課後補習教室に20名が、自主的に参加している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・範囲の決まった定期考査に向けての学習には取り組んでいるが、学力が定着するまでの学習ができていないことから、学力状況調査や、到達度テストといった、試験範囲の広いテストにおいて、得点が取れない生徒が多く見られる。</li></ul>

### 2 本年度の学力向上に関する主な取組

#### (1) 授業の改善

墨田区学力状況調査の問題を分析することで、生徒が身につけることを求められていることを把握した上で、どのような力を身につけるために、どのように授業を進めていくかを考え、授業を改

善していく。

①知識・技能の定着により答えられる問題

→ 授業の中で、帯タイムや知識・技能の定着に特化した時間を設けることで、確実に、必要な知識・技能を身につける。

②思考力・判断力・表現力により答えられる問題

→ 授業の中で、墨田区学力調査の中で見られるような、思考力・判断力・表現力を利用する問題を活用し、協働的な学習や調べ学習、自力解決の時間を確保することで、考える力を身につける。

## (2) 家庭学習習慣の定着

意識調査において、昨年より改善したものの、依然として、平日に家庭学習をしない生徒が約10%、休日に家庭学習をしない生徒が約20%程度いることから、家庭学習習慣の定着を目的とし、一律ではなく、それぞれの生徒に取り組みやすい家庭学習課題を課すことが必要である。

①自分で学習を進められる生徒

→スタディサプリ・ワーク・プリント、その他を活用し、自主的に学習したい課題を進める

②授業の復習をしたい生徒

→スタディサプリ・ワーク・プリント等について、当日に学んだ内容の学習範囲を指示し、自分の取り組む課題を明確にした上で、家庭学習に取り組む。

③自力での学習が難しい生徒

→スタディサプリ・ワーク・教科書の問題等について、内容を絞った上で、自分でもやってみようと思える内容の課題を指示する。

## (3) 定着させるための取り組み

授業 → 家庭学習 → 授業 → 家庭学習 ……のサイクルを確立させる。

わかりやすい授業を工夫して行うことで、授業内での学習内容の理解を深める。

↓

自分で取り組みそうだと思う課題を家庭学習することで、学習内容の定着を図る。

↓

前回の授業の復習を行った上で新規内容の授業を行うことで、既習内容を活用して考えを深める。

### 3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

#### (1) 目標

- ・全学年・全教科 全国平均以上
- ・全学年・全教科 DE層40%以下